

「本リリース御案内は、経済産業省記者クラブ、ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに行っております。」

報道各位へのお知らせ

平成22年10月25日



製品安全センター

石油ふろがま、石油給湯機及びまき兼用機器の 事故の防止について（注意喚起）

NITE（ナイト：独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：安井至、本部：東京都渋谷区）製品安全センターに通知された製品事故情報のうち、「石油ふろがま」、「石油給湯機」、「まき兼用機器」（※1）による事故は、平成17年度から平成21年度の5年間に663件ありました。（※2）

被害状況は、死亡事故が10件、重傷事故が6件、一室以上の火災が159件でした。

消費者の誤った取り扱いや不注意によると考えられるものが多くあり、現象別にみると、「空焚きによる発火、火災」、「焚口の開放状態での使用等による発火、火災」、「設置不良や破損、煤詰まり状態で使用したことによる火災」などが多くみられました。

一方、経年劣化による事故や設計上に問題があり、「Oリングが劣化し、燃料漏れが起きたことによる発火」事故が多発し、社告・リコールされました。

「石油ふろがま」及び「石油給湯機」による事故は、10月以降に多発すると考えられることから、消費者に事故の内容を理解していただき、正しい使用によって事故を防止するとともに、経年劣化等による事故を防止するために注意喚起を行うことが必要と考え、記者説明会を開催しますことをご案内いたします。

（※1）まき兼用機器：まき兼用石油ふろがま、まき兼用石油給湯機、まき兼用石油ふろがま石油給湯機など、まきが使用できる機器を示す。（※2）平成22年10月1日現在、重複、対象外情報を除いた件数。

1. 記者説明会について

日時：平成22年10月28日（木） 10：00～

場所：ナイトスクエア（東京都渋谷区西原2-49-10 NITE 1階）

※参加ご希望の方は、平成22年10月27日（水）18：00までに「記者説明会参加連絡先」へご連絡下さい。

2. 説明する内容

NITEに通知された石油ふろがま及び石油給湯機による事故について、事故状況とその傾向、事故事例及び未然防止のポイント等を説明いたします。また、石油ふろがまを展示し、再現実験映像をご覧いただきます。

(本件に関する問い合わせ先)

○記者説明会参加連絡先

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田(ながた)、葛谷(くずや)、三好(みよし)

電話：06-6942-1113

製品安全センター製品安全調査課(10月27日、午後)

担当者 長田、葛谷、三好

電話：03-3481-6566(製品安全企画課)

○記者説明会当日

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田、葛谷、三好

電話：03-3481-6566(製品安全企画課)

○記者説明会翌日以降

製品安全センター製品安全調査課

担当者 長田、葛谷、三好

電話：06-6942-1113